

クリアカルトン

カードの入れ替えができ、オリジナルカルトンができます

お店のメンバーズカードや「キャンペーン中」「○○周年」などを挟みお店のPRに最適です



KN-210

オープン工業株式会社
<http://www.open-k.co.jp/>

STATIONER CO.,LTD.

URL

www.stationer.co.jp/

E-mail

info@stationer.co.jp

発行所
株式会社 **ステイショナー**
東京都千代田区神田錦町1-10
(千101-0054) 第1ハヤシビル
電話 (03)3291-8438代
FAX (03)3295-4618
発行人 横山加津博
編集人 神谷 隆雄
購読料 年間12,600円(税込)
郵便振替口座 00190-2-52760

The Stationery & Office Products News

旬刊 **ステイショナー**

サマー商戦特集



加登屋の「フォルム」は、西館六階のエスカレーター横に出店したもので、すぐ隣には有隣堂の約二百五十坪の書籍売り場がある。加登屋では、文具の雑貨店型をレクトショップとしてフォルムメルチェ

が、今回初めて同業態の店舗を本拠地の蒲田に出店した。売り場面積は約三千坪。「フォルムメルチェ」はデザイン性にこだわった商品を集めたステイショナリー

ショップ。新店舗は同業態の六番目(別店名の店舗含む)の店舗にあたるが、前から店名が呼びにくいという声もあったので圧縮した。また、A C T クリエーターズボックス大井町店(アトレ五階)も改装、五月二日にフォルムとして新装オープンする。同店は、品揃えがA C T とはかなり異なってきた」と、

企画室片山直也室長。

デザイン文具集めた「フォルム」 加登屋が本拠地に初の新業態店

パリオ、サンカマタと別々に営業していた蒲田駅ビルが改装、二館構成の「グランデュオ蒲田」に生まれ変わり十六日にオープンした。グランデュオは百貨店、駅ビル双方の利点を持つ商業施設で、JR東日本商業開発が立川に続く二号店として開発。テナント店も多数出店し、雑貨ではフランフラン、無印良品、サンリオギフトなどが集結。文具関係では唯一セレクトショップ専門店「フォルム」を地元の加登屋が出店した。

新店舗はフロア中央に立地することから、壁面のないオープンスタイルで売り場づくり。筆記具、カード・レター、ノート、手帳、革小物、腕時計、バッグなど文具を中心に携帯小物、インテリア雑貨など含めて、デザインにこだわった商品をセレクトして品揃え。メインターゲットは三十代女性向けとしてはエコバッグを強力に商品展開、男性向けとしては万年筆、デザイン筆記具など高級筆記具に力を入れている。また既存店同様、イタリヤ製品に力を入れているのが特徴で、アレッシィのキッチン雑貨、腕時計をさらに並べると共に、PARAF ERNALIA というデザインペンブランドのユニークな組み立て式ボールペンも陳列。

蒲田駅ビル、SC複合百貨店に転換



人気キャラ集めるベネリックのどんぐりガーデン
オリジナル文具もずり並ぶフランフラン

ほとんどと輪っ
ちび朝顔の七ア
格は六百八十二

い祝儀袋」の手
三×九〇ゼ」の
咲、流れ花文様

ホヌ(亀)、お
アイテム。価格は
ら千三百六十五

とどつてサマー商
から売るものが
れる難しい商戦

「め」 ツキネコ

コムはんこ職人
さんとのコラボ
で生まれた新製
クラフト・そら
加、六月上旬に



山口県柳井市の老舗専
門店、木阪賞文堂の木阪
泰之軒長のインタビュ
が、経済産業省中国経済
産業局の広報誌「MET
I CHUGOKU(め
ていちゅうごく)」四月
号に六ページにわたつて
掲載された。

これは、同誌の連載「経
済人に聞く」に掲載され
たもので、昨年十月、同
社が「中国地域の歴史あ
る中小企業選」に選ばれ

新発売する。一セット四色
入りで六種類全二十四色展
開で、一セット六百二十円。
新製品は、四色のインク
パッドがそのままのサヤの
ようなスタンドにセットさ
れた、使いやすくてかわい
デザインが特徴。スタンド
が連結できるように

たことから、地元山口を
中心に活躍するタレント
山崎道子さんのインタビ
ューを受けたもの。

記事では、創業百年以
上の同店の歴
史に始まり、
中堅の保険会
社で営業所長

老舗の生き方語る

経産省広報誌にインタビュー記事

だつた木阪社長に父親か
ら「もし戻ってくるつ
もりがないのであれば、
廃業するつもりだ」と言
う手紙をもらったことを

これは、顧客の需要に
「ズ」に顧客の需要に
る営業を続けてきたこと
などを語っている。
最後に今後の計画を聞
かれた木阪社長は、「基
な

きつかけに店を継ぐに至
った経緯を説明。店を継
いでからは、地元密着を
心掛け、「つくれる文具
屋さん」をキャッチフレ
男性も女性も年を取つ
てくると感
覚も鈍くな
つてきます。

木阪賞文堂

気持ちも弱
なつてきます。そうい
う面に対応した店作りを
意識している」と語つて
います」と語っている。
なお、同店のホーム



ページ (<http://www.shakabe.com/>) から
記事全文のPDFファイ
ルがダウンロードでき
る。



おり、収納にも便利。指を
差し込めるような構造に
井智子さんがこだわった和
しやすい。カラーは、津久

ワークリップタイプが
千六百五十九円。
刃が複数枚並んだタイ
の構造で、宛名や住所な
の個人情報を手軽に三・五
幅に細断できる。直角方
向に二度切りすることで、
必要に応じてクロスカット
も可能。キャップ付きで安
全に収納でき、刃の間に話

新製品は、環境にやさし
いFSC認証紙を使ったラ
ベル用紙。各種プリンター
できれいに印刷できるほ
か、連続給紙が可能なので
大量使用にも便利なのが
特徴。剥離紙(台紙)には
樹脂フミネート加工がされ
ていないので、そのままリ